

様式1-1

大学等名	青森中央学院大学
プログラム名	データサイエンス・AI基礎プログラム

リテラシーレベルのプログラムを構成する授業科目について

① 教育プログラムの修了要件

学部・学科によって、修了要件は相違する

② 対象となる学部・学科名称

経営法学部、看護学部

③ 修了要件

データサイエンス・AI基礎の2単位を取得すること

必要最低科目数・単位数

1 科目

2 単位

履修必須の有無

令和6年度以前より、履修することが必須のプログラムとして実施

④ 現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-6	授業科目	単位数	必須	1-1	1-6
データサイエンス・AI基礎	2	○	○	○					

⑤「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-2	1-3	授業科目	単位数	必須	1-2	1-3
データサイエンス・AI基礎	2	○	○	○					

⑥「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-4	1-5	授業科目	単位数	必須	1-4	1-5
データサイエンス・AI基礎	2	○	○	○					

⑦「活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	3-1	3-2	授業科目	単位数	必須	3-1	3-2
データサイエンス・AI基礎	2	○	○	○					

⑧「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必須	2-1	2-2	2-3
データサイエンス・AI基礎	2	○	○	○	○						

⑨ 選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素	講義内容	
(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	ビッグデータ、AI「データサイエンス・AI基礎」(1回目) IoT、知能革命、第4次産業革命、Society5.0、人間の知的活動とAIの関係性、データ駆動型社会「データサイエンス・AI基礎」(2回目)
	1-6	AI等を活用した新しいビジネスモデル、AI最新技術の活用例「データサイエンス・AI基礎」(8回目)
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	調査データ、実験データ、1次データ、2次データ、構造化データ、非構造化データ「データサイエンス・AI基礎」(3回目)
	1-3	データ・AI活用領域の広がり、研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援「データサイエンス・AI基礎」(4回目)
(3)様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	データ解析「データサイエンス・AI基礎」(5回目) データの可視化「データサイエンス・AI基礎」(6回目)
	1-5	データサイエンスのサイクル「データサイエンス・AI基礎」(7回目)

(4)活用に当たっての様々な留意事項 (ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	ELSI、個人情報保護、GDPR、忘れられる権利、オプトアウト、データ倫理、AI社会原則、AIサービスの責任論「データサイエンス・AI基礎」(14回目)
	3-2	情報セキュリティ、匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取「データサイエンス・AI基礎」(15回目)
(5)実データ・実課題 (学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	データの種類、データの分布と代表値、代表値の性質の違い、データのばらつき「データサイエンス・AI基礎」(9回目) 相関と因果、クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列「データサイエンス・AI基礎」(10回目)
	2-2	データ表現、データの図表表現、データの比較、不適切なグラフ表現、優れた可視化事例の紹介「データサイエンス・AI基礎」(11回目)
	2-3	データの集計、データの並び替え「データサイエンス・AI基礎」(12回目) データ解析ツール、表形式のデータ「データサイエンス・AI基礎」(13回目)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

データサイエンスの基礎知識を修得できる。
社会におけるデータ・AIの利活用について説明できる。
データリテラシーを修得できる。
データ・AI利活用における留意事項を説明できる。

リテラシーレベルのプログラムの履修者数等の実績について

①プログラム開設年度

令和6 年度(和暦)

②大学等全体の男女別学生数

男性 491 人 女性 480 人

(合計 971 人)

③履修者・修了者の実績

様式3

大学等名 青森中央学院大学

教育の質・履修者数を向上させるための体制・計画について

① 全学の教員数 (常勤) 67 人 (非常勤) 87 人

② プログラムの授業を教えている教員数 2 人

③ プログラムの運営責任者

(責任者名) 大泉 常長 (役職名) 基幹教育センター長

④ プログラムを改善・進化させるための体制(委員会・組織等)

基幹教育センター

(責任者名) 大泉 常長 (役職名) 基幹教育センター長

⑤ プログラムを改善・進化させるための体制を定める規則名称

学校法人青森田中学園 基幹教育センター規程

⑥ 体制の目的

学校法人青森田中学園各設置校における、今後必要となる教育内容、および、答申等に示された求められる教育内容について、本学への導入に向けた情報収集と課題の整理をおこなうための共同利用機関として基幹教育センターを置く。センターは、これらの目的を達成するために、次の事業を行う。(1)学園設置校における数理、データサイエンス、AI教育の導入に関する事。(2)設置校・学部を横断する教育の導入に関する事。(3)ICTを活用した教育の導入に関する事。

⑦ 具体的な構成員

基幹教育センター長(経営法学部 教授) 大泉 常長

経営法学部 准教授 木村 隆雄

経営法学部 准教授 山本 俊

経営法学部 准教授 楠山 大暁

経営法学部 准教授 中村 智行

経営法学部 講師 新免 圭介

経営法学部 講師 畠山 光史

看護学部 教授 玉熊 和子

看護学部 准教授 藤澤 珠織

食物栄養学科 教授 棟方 秀和

幼児保育学科 教授 鈴木 寛康

事務局 局長 石田 壮平

事務局 次長(学事担当) 石田 智久

事務局 学務課リーダー 坂本 貴行

事務局 企画課長 石田 光

事務局 企画課情報システム部門リーダー 石山 直敬

事務局 企画課情報システム部門 柿崎 雄希

⑧ 履修者数・履修率の向上に向けた計画 ※様式1の「履修必須の有無」で「計画がある」としている場合は詳細について記載すること

令和6年度実績	27%	令和7年度予定	100%	令和8年度予定	100%
令和9年度予定	100%	令和10年度予定	100%	収容定員(名)	1,020

具体的な計画

令和6年度より、履修することが必須のプログラムとして実施している。

⑨ 学部・学科に関係なく希望する学生全員が受講可能となるような必要な体制・取組等

センターの設置により、全学的な教育コンテンツ作成を支援し、プログラムの基礎部分である「データサイエンス・AI基礎」(経営法学部)および「情報処理I」(看護学部)においては全学生が受講できるように必修科目としている。

⑩ できる限り多くの学生が履修できるような具体的な周知方法・取組

入学後のオリエンテーション、在学生の始業ガイダンス、大学ホームページなどで、学生にプログラムを受講することの意義を周知している。学生便覧に本プログラムに属する科目のカリキュラムマップおよびカリキュラムツリーなどを掲載して、学生が情報を受け取りやすい環境を整備している。

⑪ できる限り多くの学生が履修・修得できるようなサポート体制

本教育プログラムの授業について、「データサイエンス・AI基礎」の授業用Teams上で授業資料をPDFファイルで学生に共有し、また演習課題についても問題文・課題データなどをTeamsを通じて情報共有し、多くの学生がいつでも講義資料などの閲覧が可能な環境を構築している。

⑫ 授業時間内外で学習指導、質問を受け付ける具体的な仕組み

本教育プログラムの授業についての履修を本学ポータルサイトにて管理し、学生は授業時間以外に不明点などをTeamsのチャット機能を通じて確認することができ、質問は主として授業担当教員を通じて返答する体制を整備している。

自己点検・評価について

① プログラムの自己点検・評価を行う体制(委員会・組織等)

基幹教育センター

(責任者名) 大泉 常長

(役職名) 基幹教育センター長

② 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	<p>全学必修科目として実施し、単位修得率は97.5%となった。また、演習課題の回答状況については、一部学生において遅れがあったものの、最終的には単位修得学生においてはすべての演習課題を回答した。</p> <p>プログラムの履修・修得状況</p>
学修成果	<p>学修成果等アンケートの結果を見ると、経営法学部においては、DPIに基づく全24項目の学習目標のうち、本プログラムに関連する「多様性の尊重」は全体で1番目、「広い視野からの理解」は14番目、「変化と備えるべき能力の理解」は11番目、「数量的スキル」は16番目という結果になった。</p> <p>看護学部においては、DPIに基づく全20項目の学習目標のうち、本プログラムに関連する「人間と社会、自然への理解」は全体で3番目、「科学的判断の理解」は全体で18番目、「課題解決力」は全体で13番目という結果になった。</p> <p>数理・データサイエンス・AIに関する知識の必要性についてはある程度理解が進んだものの、自身のスキルや科学的思考に関しては自信がない状況であることが読み取れ、この結果を踏まえ改善を行っていく必要があることを確認した。</p>
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	<p>授業改善アンケートの「この授業の内容を理解しましたか。」について、青森中央学院大学経営法学部における「データサイエンス・AI基礎」では、そう思う・まあそう思う(全選択肢: そう思う・まあそう思う・あまりそう思わない・そう思わない)の割合が75.4% 青森中央学院大学看護学部における「情報処理Ⅰ」では、そう思う・まあそう思う(全選択肢: そう思う・まあそう思う・あまりそう思わない・そう思わない)の割合が85.0%であった。</p> <p>いずれも同セメスターの全科目の平均値と比較して低い状況であり、数理・データサイエンス・AI教育の授業における難易度設定について改善が必要であることを確認した。</p> <p>またアンケートの自由記述をみると、「結構面白いと思えた」「今の時代に合ったAIの解説やネット社会で使える技術と知識を知ることができた」など、一部の学生においては、本プログラムの受講により、数理・データサイエンス・AIに興味をもったという意見もあった。全学必修科目として実施していることにより、初めは興味がなくとも本プログラムが興味を持つきっかけになった学生がいたという点で、有意義な取り組みだと評価できる。</p>
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推薦度	本学では、全学必修科目として実施しているため、推薦の度合いによって履修者に変化はないが、授業改善アンケートの結果を基幹教育センターで分析し、後輩学生の授業時に修得に対するモチベーション向上の観点からも授業改善を検討している。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	本教育プログラムを構成する科目「データサイエンス・AI基礎」については令和6年度から経営法学部において必修しており、履修者数、履修率の向上を推進している。また、「情報処理Ⅰ」については、平成26年度から看護学部において必修しており、履修者数、履修率の向上を推進している。なお、「データサイエンス・AI基礎」については令和7年度から看護学部においても必修とすることが決定している。

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学外からの視点	R6年度から実施しているプログラムであるため、本教育プログラムの修了者が今後本学を卒業した後に、卒業生アンケートなどを通じて進路、活躍状況、企業などの評価を把握する予定である。
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	<p>令和6年12月7日(土)に、青森中央学院大学・青森中央短期大学主催令和6年度「数理・データサイエンス・AI教育に関する取り組み事例研究会」を実施し、教育プログラムの講義内容および実データを活用した演習などの手法について意見を収集した。</p> <p>・学生は、授業・課題等でデータ分析等を手順通りに作業として実施することはできるが、今この作業が何のための分析なのか、何を明らかにできるのかなどを理解できていない場合がある。仮説を考えもらったり、その結論に導くためにどんな分析が必要かを考えてもうことで、作業にならない工夫が必要である。</p> <p>・アプリケーションの機能を用いればボタン一つで分析結果がわかるが、結果を導く計算式までを理解するのは難しい。どこまでを教えるのが適切なのかは悩むところである。初めは手計算で行わせるなどアプリケーションに頼らないやり方もありえるが、その分時間がかかるてしまう。一方で社会で役立つ能力と割り切ると、リテラシーレベルということも鑑みると、アプリケーションはあるのだから、数式などの説明は割愛するという考え方もありえる。</p> <p>基幹教育センターにおいて上記の意見等を踏まえ、プログラムの改善に活用している。</p>
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	モデルカリキュラムリテラシーレベルの導入・基礎・心得に準じた内容を展開し、時事やトレンドなど社会での実例をもとにAIなどがどのような活用をされているのかを中心に、受講生の専門分野である経営学、法学、看護学等とも関連付けながら、好奇心を促す講義内容としている。取りあげる実例については、授業改善アンケートなどの結果を活用し、その内容について評価を実施し改善に活かしている。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること ※社会の変化や生成AI等の技術の発展を踏まえて教育内容を継続的に見直すなど、より教育効果の高まる授業内容・方法とするための取組や仕組みについても該当があれば記載	基幹教育センターにて、授業改善アンケートの意見を参考に、学生の「分かりやすさ」の観点から講義の内容・実施方法の見直しを行っている。例えば、令和7年度からはクラスサイズを調整し「データサイエンス・AI基礎」については2クラス開講とすることで学修効果の向上を図っている。

授業コード	USLN08A		
授業科目名	データサイエンス・AI基礎		
授業科目名（英語）	Data Science and AI Basics		
担当教員名	畠山 光史		
単位数	2単位	授業形態	講義
標準履修年次	1年	卒業必修・選択の別	卒業必修
期間	2025年度前期		

教員の実務経験と科目との関連	特になし。
授業の概要・目的	<p>現代社会において、データ分析能力を中心とした「データサイエンス・AIリテラシー」を修得することは重要です。実際、日本政府は2019年6月にAI戦略2019を発表し、「数理・データサイエンス・AI」の基礎などの必要な力をすべての国民が育むべきとしています。このような方針に呼応して、数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアムにより、2020年4月に産業界や関係団体の協力も得て「数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム～データ思考の涵養」が公表されました。また、データサイエンス・AI技術の日々の進歩に呼応して、モデルカリキュラムの内容も改訂されています。</p> <p>この授業では、上記のモデルカリキュラムのうち、「導入：社会におけるデータ・AI利活用」、「基礎：データリテラシー」、「心得：データ・AI利活用における留意事項」について学びます。</p> <p>この授業での学びを通じて、学生は（1）データサイエンスの基礎知識、（2）パソコンを使用した実践力を修得できます。</p> <p>なお、授業資料の提示や試験は、本学ポータルサイトやTeams、Formsなどを活用します。</p>
ディプロマ・ポリシーとの関連	この科目は、学院大看護学部のディプロマ・ポリシー（DP）における態度・志向1、知識・理解3との関係性が強くなっています。この科目を通して、「人間と社会、自然への理解」、「科学的判断の理解」、「課題解決力」を育成します。
科目の位置付け(他の科目との関連)	この科目は、リベラルアーツの自然の探究領域の科目であり、経営法学院・看護学部・短大の「情報処理」関連科目、経営法学院の統計学、経営経済数学、経営経済データ分析論I・II、看護学部の統計学基礎などと関連が深いです。
受講に必要な知識・スキル(履修条件等)	<p>学院大・短大の必修科目のため、特に指定しません。</p> <p>ただし、データサイエンス・AIに興味・関心を持って、学生個々人の日常生活や専門分野（経営・法律・経済・看護・食物栄養・幼児保育）などにおいて活用する意識を持てば理解が容易になります。</p> <p>なお、授業資料の提示や試験は、本学ポータルサイトやTeams、Formsなどを活用して実施します。操作に習熟しておいてください。</p>
アクティブラーニングの有無（内容）	有り。授業内でパソコンを使用した課題演習を実施します。課題演習で取り組んだ問題の解答内容について、ペアワークを実施します。使用アプリケーションはMicrosoft Excelです。

到達目標

- ①学生は、データサイエンスの基礎知識を修得できる。
- ②学生は、社会におけるデータ・AIの利活用について説明できる。
- ③学生は、データリテラシーを修得できる。
- ④学生は、データ・AI利活用における留意事項を説明できる。

授業の計画(予習、復習の内容・時間含む)

第1回

テーマ：イントロダクション、データサイエンス・AI基礎の概要

授業内容：授業計画・概要、評価の方法・ルールを確認します。データサイエンス・AI基礎で学ぶこと、データサイエンス・AI基礎を学ぶ意義を概説します。

予習（60分程度）：Teamsで配布する授業資料の授業計画および成績評価を読んでおく。

復習（60分程度）：配布された授業資料の授業計画および成績評価、受講時の注意事項を再確認する。

第2回

テーマ：社会で起きている変化

授業内容：知能革命がなぜ起きたのか、背景と歴史を学びます。また、今のAIの弱点を正しく理解します。

予習（60分程度）：Teamsで配布する授業資料を読み、知能革命およびAIについて理解する。

復習（60分程度）：配布された授業資料で、知能革命の背景と歴史およびAIの弱点を再確認する。

第3回

テーマ：社会で活用されているデータ

授業内容：ビッグデータとはどういうものなのかを学びます。また、データ処理の大まかな流れを学びます。

予習（60分程度）：Teamsで配布する授業資料を読み、ビッグデータ、データ処理について理解する。

復習（60分程度）：配布された授業資料で、ビッグデータの定義およびデータ処理の流れを再確認する。

第4回

テーマ：データとAIの活用領域

授業内容：事業活動におけるデータ・AI活用の広がりおよび活用目的毎のデータ・AI活用の広がりについて概説します。

予習（60分程度）：Teamsで配布する授業資料を読み、事業活動におけるデータ・AIについて理解する。

復習（60分程度）：配布された授業資料で、事業活動におけるデータ・AI活用の事例を再確認する。

第5回

テーマ：データ・AI利活用のための技術（1）：基礎編

授業内容：データ解析の具体的な内容やAIの現状について概説します。

予習（60分程度）：Teamsで配布する授業資料を読み、データ解析およびAIについて理解する。

復習（60分程度）：配布された授業資料で、データ解析の内容およびAIの現状を再確認する。

第6回

テーマ：データ・AI利活用のための技術（2）：応用編

授業内容：データの可視化や解析対象となるデータの種類について学びます。

予習（60分程度）：Teamsで配布する授業資料を読み、データの可視化および種類について理解する。

復習（60分程度）：配布された授業資料で、データの可視化の方法を再確認する。

第7回

テーマ：データ・AI活用の現場

授業内容：データ・AIを活用することによって、どのような価値が生まれるかについて学びます。また、価値を生むための留意点についても学びます。

予習（60分程度）：Teamsで配布する授業資料を読み、AIの活用について理解する。

復習（60分程度）：配布された授業資料で、AIの活用によって生まれる価値および留意点を再確認する。

第8回

テーマ：データ・AI利活用の最新動向

授業内容：AIなどを活用した新しいビジネスモデルを概説します。

予習（60分程度）：Teamsで配布する授業資料を読み、AIを活用した新しいビジネスモデルについて理解する。

復習（60分程度）：配布された授業資料で、新しいビジネスモデルの特徴や課題を再確認する。

第9回

テーマ：データを読む（1）：基礎編

授業内容：データの種類、データの代表値とばらつきの指標、実際に発生する問題点について学びます。

予習（60分程度）：Teamsで配布する授業資料を読み、データ分析の基礎について理解する。

復習（60分程度）：配布された授業資料で、データ分析における種類・指標および問題点を再確認する。

第10回

テーマ：データを読む（2）：応用編

授業内容：相関、因果性、クロス集計表、散布図行列について学びます。

予習（60分程度）：Teamsで配布する授業資料を読み、データ分析の基礎手法について理解する。

復習（60分程度）：配布された授業資料で、相関、因果性などの分析方法を再確認する。

第11回

テーマ：データを説明する

授業内容：データを説明するいくつかの具体的な表現法について、実際のデータ例を見ながら、学修します。

予習（60分程度）：Teamsで配布する授業資料を読み、データの表現方法について理解する。

復習（60分程度）：配布された授業資料で、データの表現方法およびデータ例を再確認する。

第12回

テーマ：データを扱う（1）：基礎編

授業内容：表形式のデータに対して、Excelのデータ解析ツールを取り上げます。なお、第12回目の授業の際に、学修内容に関する演習課題を実施する予定です。その解説や講評などのフィードバックについては、第13回目に実施する予定です。なお、演習課題では総務省統計局や全国チェーン飲食店が提供する実データを取得し、データ加工や解析から推論を立て、その結果を他者に共有・伝達するプロセスについて学修します。

予習（60分程度）：Teamsで配布する授業資料を読み、Excelのデータ解析ツールについて理解する。

復習（60分程度）：配布された授業資料で、Excelの操作方法および出力結果の解釈方法を再確認する。

第13回

テーマ：データを扱う（2）：応用編、データ・AIを扱うまでの留意事項

授業内容：表形式のデータに対して、Excelのデータ解析ツールを取り上げます。一般データ保護規則などの現行の法制度の考え方を説明します。AI倫理（説明可能性、アカウンタビリティ、トラスト、公平性）について概説します。

予習（60分程度）：Teamsで配布する授業資料を読み、Excelのデータ解析ツールについて理解する。Teamsで配布する授業資料を読み、データの取扱いに関する規則や倫理について理解する。

復習（60分程度）：配布された授業資料で、Excelの操作方法および出力結果の解釈方法を再確認する。配布された授業資料で、データを取り扱う際の留意事項を再確認する。

第14回

テーマ：データを守るまでの留意事項

授業内容：情報漏えいなどによるセキュリティ事故やプライバシー侵害の事例を学びます。また、セキュリティ・プライバシーの観点から留意事項について概説します。

予習（60分程度）：Teamsで配布する授業資料を読み、データ保護に関する規則や倫理について理解する。

復習（60分程度）：配布された授業資料で、データを保護する際の留意事項を再確認する。

第15回

テーマ：総まとめ

授業内容：第14回目までの授業内容を総括します。また、Formsを活用した期末試験を実施します。

予習（60分程度）：第14回目までの授業内容を復習しておく。

復習（60分程度）：期末試験の内容について振り返る。

授業時間外の活動の有・無と内容

無し。

使用テキスト	教員が作成した授業資料（パワーポイント、Teamsを通じてPDF形式で配布するもの）
参考書	授業内で適宜紹介します。

成績評価の方法及び評価基準

【方法】

演習課題はExcelを用いた実践問題を出題します。データリテラシーを修得できているかを確認します（到達目標③）。

また、期末試験は選択問題や正誤問題を出題します。データサイエンスの基礎知識を修得できているか、社会におけるデータ・AIの利活用について説明できているか、データ・AI利活用における留意事項を説明できているかを確認します（到達目標①②④）。

下記評価項目に基づいて総合的に評価します。

- ・出題意図に対する理解
- ・授業で学修したデータサイエンス・AIに対する理解度

【評価基準】

演習課題（40%）

期末試験（60%）

特記事項	<p>全ての回においてパソコンを使用しますので、パソコンを準備してください。</p> <p>この授業のTeams上で、授業で使用するパワーポイントスライド（拡張子はPDF形式）や関連資料を共有します。第1回目の授業時に提示するチームコードでこの授業のTeamsに参加してください。</p> <p>Teamsへの参加方法やチームコードが分からぬ場合、教員に（直接あるいはE-mail等で）質問してください。</p> <p>演習課題や期末試験は、本学ポータルサイトやTeamsの課題機能、Formsなどを活用して実施します。操作に習熟しておいてください（実施方法の詳細は授業内で説明します）。</p> <p>生成AI等が产出した文章をそのまま解答に記載しないでください。</p> <p>その他、授業についての質問等がある場合は、Teamsのチャットを活用します。またオフィスアワーでも受け付けます。</p> <p>授業履修と並行して新聞などでデータサイエンス・AIに関連する記事に注目してください。</p>
オフィスアワー	担当教員から授業時に提示します。

令和7（2025）年度

学 生 便 覧

青森中央学院大学

目 次

校歌・学生歌	1
学長あいさつ	3
建学の精神	5
教育目的と教育方針	6
青森中央学院大学の概要	7
青森中央学院大学の沿革	8
学年暦	9

I. 履修の手引き

授業・試験・成績等に関する基本事項	
1) 大学生活はポータルサイトから	10
2) 学期について	10
3) 単位制度について	10
4) 教室	11
5) 授業に関する事項	11
6) 履修について	13
7) 単位認定の条件	14
8) 試験	14
9) 成績評価	15
10) 教育課程外における学修の単位認定	16
11) GPAについて	16
12) 学修などに関するサポート	17
13) 学籍に関わる事項	17

【経営法学部】

1. 学部の理念・目的・カリキュラム・マップ	21
2. 2025年度入学生授業科目一覧表	25
3. 経営法学部 教育課程表	26
4. 履修要項	30
1) 授業科目の編成	
2) 卒業の要件	
3) 履修の上限	
4) 進級の要件	
5. 教職課程	32
6. 司書	38
7. 上級秘書士課程	40
8. 社会福祉主事課程	41
9. 防災士課程	42
10. 特待生制度	43
11. 履修モデル	47
12. グローバル人材養成プログラム	50
13. データ分析実践プログラム	51
14. 日商簿記検定取得プログラム	52
15. 公務員人材養成プログラム	53

【看護学部】

1. 学部の理念・目的	57
2. 2025年度入学生授業科目一覧表	60
3. 看護学部 教育課程表	61
4. カリキュラム・マップ	63
5. 履修要項	64
1) 卒業の要件	
2) 履修の上限	
3) 進級の要件	
4) 資格について	
5) 臨地実習について	
6. 保健師教育課程	66
7. 指定規則との対比表（看護師教育課程）	69
8. 指定規則との対比表（保健師教育課程）	72
9. 特待生制度	75
10. 海外協定校での研修	76
11. データ分析実践プログラム	76

【別科助産専攻】

1. 別科の理念・目的	79
2. 授業科目一覧表	81
3. 履修要項	81
4. 資格について	81
5. 教育課程表	82
6. カリキュラム・マップ	83
7. 指定規則との対比表（助産師教育課程）	84

II. 学生生活の手引き

学生生活に関する基本事項

1. 学生関係窓口	86
2. 困ったときの一覧	88
3. 学生生活に関する基本事項	
1) 学費納入	89
2) 学生証	89
3) 連絡方法	91
4) 通学	91
5) 各種証明書	92
6) 各種証明書・願・届一覧	93
7) 各種証明書・願・届	
ダウロード手順	96
8) 学内情報ネットワーク	97
9) ハラスメントについて	99
10) 個人情報管理について	99
11) SNS等インターネット上の 書き込みについて	99
12) その他学生生活についての注意	100

学生サポート

1. 経済相談	103
1) 奨学金	103
2) 教育ローン	104
2. 学生生活に関する支援	
1) 学習支援センター	105
2) 学生相談室	106
3) 健康管理室	106
4) 障がいや病気の支援について	107
3. 学生保険	108
4. 就職相談・キャリア支援	
1) キャリア支援センター	109
2) 就職支援：経営法学部	110
3) 就職支援：看護学部	
・別科助産専攻	111
5. 宿舎	
1) 学生会館	112
2) アパート、下宿	112

施設・設備の利用について

1. 教室等の利用	115
2. 各施設・設備利用案内	
1) 図書館	115
2) 各種運動施設	118
3) カフェテリア	119
4) キャンパスショップ	119
5)  (プラスシー)	119
6) 学生駐車場	119
7) コピー機	120
8) 看護学部・別科助産専攻	
実習室	120
9) 看護学部・別科助産専攻	
ロッカー室	121
10) その他 専門教育に特有の教室	121
11) サテライトキャンパス	
「フレンドリーウィンドウ」	121
12) 自動証明書発行機	122

課外活動

1. 学校行事	125
2. 課外活動	
1) 学友会	125
2) サークル活動団体	125
3) 諸手続き	126
4) サークル室	126

3. 学生プロジェクト支援制度	128
4. 地域社会活動、ボランティア活動	129
5. アルバイト	129
6. 学内ワークスタディ制度	130

国際交流

1. 海外留学プログラム（交換）	133
2. 海外留学プログラム（中期）	134
3. 海外留学プログラム（短期）	134
4. 海外留学奨励金支給制度	136
5. 海外留学相談会	136
6. 語学準備講座	136
7. 英語力向上講座	137
8. 海外協定校	137
9. 国際語学サポートセンター	138
10. 国際交流イベント	138
11. チューター制度	138
12. 情報発信	138

III. 関係諸規程

・青森中央学院大学学則	141
・青森中央学院大学別科助産専攻規程	162
・青森中央学院大学学長賞表彰規程	164
・青森中央学院大学試験における不正行為取扱規程	165
・青森中央学院大学転学部取扱規程	166
・青森中央学院大学同窓会会則	168
・青森中央学院大学学友会会則	170
・学校法人青森田中学園学生会館規程	173
・学生駐車場自治会規程	175
・学校法人青森田中学園における個人情報保護の基本方針	177
・青森中央学院大学ハラスメントの防止等に関する規則	179
・青森中央学院大学学生の懲戒等に関する規程	181
・青森中央学院大学授業科目の履修登録単位数の上限に関する規程	186
・青森中央学院大学進級規程	187

IV. 校舎見取図	189
掲示板の位置図及び掲示内容	204
キャンパス案内図	206
新型コロナウイルス感染症に関する相談先	207
災害や緊急時の対応について	209
避難場所	211

3. 経営法学部 教育課程表

一般学生 (コモンベーシックス・リベラルアーツ)

授業科目			単位数		時合 時 間 間 計	配当年次								備 考	
						1	2	3	4	前	後	前	後	前	
			必修	選択											
外国語	英語	英語 I	演習	2	30	60	○								4 単位必修
		英語 II	演習	2	30	60		○							
		英語 III	演習	2	30	60			○						
		英語 IV	演習	2	30	60				○					
		英語上級 I	演習	2	30	60					○				
		英語上級 II	演習	2	30	60						○			
		中国語	演習	1	30	30	○	○							
		韓国語	演習	1	30	30			○						
		ロシア語	演習	1	30	30				○					
コモンベーシックス	情報処理	情報処理 I	演習	2	30	60	○								4 単位必修
		情報処理 II	演習	2	30	60		○							
		情報処理 III	演習	2	30	60			○						
		情報処理 IV	演習	2	30	60				○					
		情報処理上級 I	演習	2	30	60					○				
		情報処理上級 II	演習	2	30	60						○			
		統計学	講義	2	15	30		○							
		探究の基礎	演習	2	30	60	○								
		探究の基礎	演習	2	30	60									
プランニング	キャリア・プランニング	キャリアプランニング I	演習	1	30	30	○								2 単位必修
		キャリアプランニング II	演習	1	30	30		○							
		キャリアプランニング III	演習	1	30	30			○						
		キャリアプランニング IV	演習	1	30	30				○					
		キャリアプランニング V	演習	1	30	30					○				
		キャリアプランニング VI	演習	1	30	30						○			
		インターンシップ I	演習	2	30	60			○						
		インターンシップ II	演習	2	30	60				○					
		対人コミュニケーション I	演習	1	30	30	○								
リベラルアーツ	人間の探究	対人コミュニケーション II	演習	1	30	30		○							8 単位選択
		人間と哲学	講義	2	15	30	○								
		人間と心理	講義	2	15	30	○								
		人間と歴史	講義	2	15	30		○							
		縄文と現代	講義	2	15	30		○							
		科学リテラシーと批判的思考	講義	2	15	30		○							
		人間と宗教	講義	2	15	30			○						
		人間と芸術	講義	2	15	30			○						
		人間と倫理	講義	2	15	30				○					
リベラルアーツ	社会の探究	人間と文学	講義	2	15	30				○					4 単位選択
		人間と教育	講義	2	15	30				○					
		暮らしおと地域	講義	2	15	30	○								
		暮らしおと法律	講義	2	15	30	○								
		ジェンダー論	講義	2	15	30	○								
		暮らしおと経済	講義	2	15	30		○							
		グローバル経済	講義	2	15	30		○							
		異文化交流論	講義	2	15	30			○						
		現代社会の諸相	講義	2	15	30			○						
リベラルアーツ	自然の探究	社会と福祉	講義	2	15	30				○					2 単位必修 2 単位選択
		データサイエンス・AI基礎	講義	2	15	30	○								
		自然の生態系	講義	2	15	30	○								
		生命の科学	講義	2	15	30		○							
		自然と化学	講義	2	15	30		○							
		防災と危機管理	講義	2	15	30			○						
		自然とエネルギー	講義	2	15	30				○					
		地球と環境	講義	2	15	30				○					

留学生（コモンベーシックス・リベラルアーツ）

授業科目			単位数		時 間 合 計	配当年次								備 考	
						1	2	3	4	前	後	前	後	前	
			必 修	選 択		前	後	前	後	前	後	前	後	前	
コモンベーシックス	外国語	英語 I	演習	2	30	60	○								4 単位必修
		英語 II	演習	2	30	60		○							
	日本語	日本語 I	演習	4	30	120			○						
		日本語 II	演習	2	30	60			○						
		日本語 III	演習	2	30	60			○						
		日本語 IV	演習		2	30	60			○					
		学術日本語	演習	2	30	60			○						
	情報処理	ビジネス日本語	演習		1	30	30			○					
		情報処理 I	演習	2	30	60	○								
		情報処理 II	演習	2	30	60		○							
	探究の基礎	探究の基礎	演習	2	30	60		○							2 単位必修
リベラルアーツ	人間の探究	対人コミュニケーション I	演習		1	30	30	○							8 単位選択
		対人コミュニケーション II	演習		1	30	30		○						
		人間と哲学	講義	2	15	30	○								
		人間と心理	講義	2	15	30	○								
		人間と歴史	講義	2	15	30		○							
		縄文と現代	講義	2	15	30		○							
		科学リテラシーと批判的思考	講義	2	15	30		○							
		人間と宗教	講義	2	15	30			○						
		人間と芸術	講義	2	15	30			○						
		人間と倫理	講義	2	15	30				○					
		人間と文学	講義	2	15	30				○					
		人間と教育	講義	2	15	30				○					
	社会の探究	暮らしと地域	講義	2	15	30	○								4 単位選択
		暮らしと法律	講義	2	15	30	○								
		ジェンダー論	講義	2	15	30	○								
		暮らしと経済	講義	2	15	30		○							
		グローバル経済	講義	2	15	30		○							
		異文化交流論	講義	2	15	30			○						
	自然の探究	現代社会の諸相	講義	2	15	30			○						2単位必修 2単位選択
		社会と福祉	講義	2	15	30				○					
		データサイエンス・AI基礎	講義	2	15	30	○								
		自然の生態系	講義	2	15	30	○								
		生命の科学	講義	2	15	30		○							
		自然と化学	講義	2	15	30		○							
		防災と危機管理	講義	2	15	30			○						
留学生科目	留学生科目	自然とエネルギー	講義	2	15	30				○					4 単位必修
		地球と環境	講義	2	15	30				○					
		日本の政治と経済	講義	2	15	30	○								
		日本の歴史と文化	講義	2	15	30		○							
		日本の社会	講義	2	15	30					○				

一般学生・留学生共通（専門科目）

授業科目		単位数	時 単 間 位	合 計 時 間	配当年次				備 考	
					1		2			
					前	後	前	後		
経営領域	経営法律総合	講義	2	15 30	○				2単位必修	
	経営学入門	講義	2	15 30	○					
	簿記論 I	講義	2	15 30	○					
	会計学入門	講義	2	15 30	○					
	企業論	講義	2	15 30	○					
	簿記論 II	講義	2	15 30	○					
	経営組織論	講義	2	15 30		○				
	マーケティング論	講義	2	15 30		○				
	経営戦略論	講義	2	15 30		○				
	商業簿記	講義	2	15 30		○				
	工業簿記	講義	2	15 30		○				
	財務会計論	講義	2	15 30			○			
	応用経営戦略論	講義	2	15 30			○			
	経営管理論	講義	2	15 30			○			
	経営財務論	講義	2	15 30			○			
	社会事業論	講義	2	15 30			○			
	新事業構築論	講義	2	15 30			○			
	経営情報論	講義	2	15 30			○			
	地域経営論	講義	2	15 30			○			
	管理会計論	講義	2	15 30			○			
	経営学課題研究 I	講義	2	15 30			○			
	経営人事論	講義	2	15 30				○		
	経営倫理論	講義	2	15 30				○		
	公益事業論	講義	2	15 30				○		
	中小企業経営論	講義	2	15 30				○		
	国際経営論	講義	2	15 30				○		
	経営分析論	講義	2	15 30				○		
	経営学課題研究 II	講義	2	15 30				○		
法律領域	法学入門	講義	2	15 30	○					
	民法総則	講義	2	15 30	○					
	憲法 I	講義	2	15 30	○					
	債権各論	講義	2	15 30		○				
	会社法 I	講義	2	15 30		○				
	憲法 II	講義	2	15 30		○				
	法学課題研究 I	講義	2	15 30		○				
	債権総論	講義	2	15 30			○			
	会社法 II	講義	2	15 30			○			
	物権法	講義	2	15 30			○			
	法学課題研究 II	講義	2	15 30			○			
	行政法 I	講義	2	15 30				○		
	担保物権法	講義	2	15 30				○		
	支払決済法	講義	2	15 30				○		
	労働法	講義	2	15 30				○		
	国際私法	講義	2	15 30				○		
	民事手続法	講義	2	15 30				○		
	消費者法	講義	2	15 30				○		
	親族相続法	講義	2	15 30				○		
	法学課題研究 III	講義	2	15 30				○		
	行政法 II	講義	2	15 30				○		
	社会保障法	講義	2	15 30				○		
	法と経済	講義	2	15 30				○		
	知的財産法	講義	2	15 30				○		
	国際関係法	講義	2	15 30				○		
	刑事法	講義	2	15 30				○		
	経済法	講義	2	15 30				○		
	法学課題研究 IV	講義	2	15 30				○		

必修科目を除く専門科目から22単位上自由選択

4単位必修
16単位選択

4単位必修
16単位選択

3. 看護学部 教育課程表

授業科目		単位数	一時単位	合計時間	配当年次								備考		
					1 前	2 後	3 前	4 後	1 前	2 後	3 前	4 後			
コモンバージンクス	外国語	英語リーディングスキル I	演習	1	30	30	○							英語4単位必修 コモンバージンクス 10単位必修 2単位以上選択	
		英語コミュニケーションスキル I	演習	1	30	30	○								
		英語リーディングスキル II	演習	1	30	30	○								
		英語コミュニケーションスキル II	演習	1	30	30	○								
		医療英語	演習	1	30	30		○							
		中国語	演習	1	30	30	○	○							
		韓国語	演習	1	30	30	○								
	情報処理	ロシア語	演習	1	30	30		○						情報処理4単位必修 1単位必修 1単位必修	
		情報処理 I	演習	2	30	60	○								
		情報処理 II	演習	1	30	30			○						
リベラルアーツ	人間の探究	統計学基礎	演習	1	30	30		○						人間の探究 4単位必修 2単位以上選択 リベラルアーツ 10単位必修 6単位以上選択	
		探究の基礎	演習	1	30	30	○								
		キャリアプランニング	自己の探究	1	30	30		○	○						
		人間と哲学	講義	2	15	30	○								
		人間と心理	講義	2	15	30	○								
		人間と歴史	講義	2	15	30	○								
		人間と教育	講義	2	15	30			○						
		人間と宗教	講義	2	15	30		○							
		人間と芸術	講義	2	15	30		○							
		人間と文学	講義	2	15	30			○						
自然の探究		人間と倫理	講義	2	15	30			○					自然の探究 4単位必修 2単位以上選択	
		対人コミュニケーション論	講義	2	15	30	○								
		人間関係とリーダーシップ	講義	2	15	30			○						
		体育 I	講義	1	15	15				○					
		体育 II	実技	1	45	45				○					
		縄文と現代	講義	2	15	30		○							
		科学リテラシーと批判的思考	講義	2	15	30		○							
		暮らしと地域	講義	2	15	30	○								
		異文化交流論	講義	2	15	30			○						
		暮らしと経済	講義	2	15	30	○								
専門科目	健康科学と看護実践	暮らしと法律	講義	2	15	30	○							社会の探究 2単位必修 2単位以上選択 健康科学と看護実践 49単位必修 2単位以上選択 ※印は保健師教育課程の必修科目	
		現代社会の諸相	講義	2	15	30			○						
		法学(日本国憲法含む)	講義	2	15	30	○								
		ジェンダー論	講義	2	15	30	○								
		社会と福祉	講義	2	15	30			○						
		自然の生態系	講義	2	15	30	○								
		自然と化学	講義	2	15	30		○							
		生命の科学	講義	2	15	30		○							
		自然エネルギー	講義	2	15	30			○						
		防災と危機管理	講義	2	15	30			○						
人間の心身の理解		地球と環境	講義	2	15	30			○						
		データサイエンス・AI基礎	講義	2	15	30	○								
		形態・機能学 I	講義	1	30	30	○								
		形態・機能学 II	講義	1	30	30	○								
		形態・機能学 III	講義	1	30	30	○								
		医学概論	講義	1	15	15	○								
		病理病態学	講義	1	30	30	○								
		免疫と感染	講義	1	15	15	○								
		人間発達論	講義	2	15	30	○								
		看護倫理	講義	1	15	30			○						
健康科学と看護実践	健康障害と回復の理解	疾病治療論 I	講義	1	30	30	○							健康科学と看護実践 49単位必修 2単位以上選択 ※印は保健師教育課程の必修科目	
		疾病治療論 II	講義	1	30	30			○						
		疾病治療論 III	講義	1	30	30			○						
		母性疾病治療論	講義	1	15	15			○						
		小児疾病治療論	講義	1	15	15			○						
		精神疾病治療論	講義	1	15	15			○						
		リハビリテーション論	講義	1	15	15				○					
		臨床栄養学	講義	1	15	15				○					
		薬理と薬剤	講義	2	15	30		○							
		健康行動論	講義	1	15	15	○								
専門科目	健康支援と社会制度	健康教育論	講義	1	15	15			○					※印は保健師教育課程の必修科目	
		地域包括ケア論	講義	1	15	15			○						
		医療と社会保障	講義	1	15	15			○						
		公衆衛生学	講義	2	15	30			○						
		公衆衛生看護学概論 I ※	講義	1	15	15			○						
		医療経済学 ※	講義	1	15	15				○					
		看護と法律	講義	1	15	15				○					
		地域と生活習慣病	講義	1	15	15				○					
		疫学と保健統計	講義	2	15	30				○					
		保健医療福祉行政論 I ※	講義	1	15	15				○					

授業科目			単位数	一時単位間	合計時間	配当年次				備考
						1 前	2 後	3 前	4 後	
基礎看護学	看護学概論	講義	2		15 30	○				
	看護展開論	講義	2		15 30		○			
	看護過程演習	演習	1		30 30			○		
	身体診査演習	演習	1		30 30		○			
	基礎看護技術論 I	演習	2		30 60	○				
	基礎看護技術論 II	演習	2		30 60		○			
	基礎看護学実習 I	実習	1		45 45	○				
	基礎看護学実習 II	実習	2		45 90		○			
地域・在宅看護学	状況判断実践演習	演習	1		30 30				○	
	地域在宅看護学概論 I	講義	1		15 15		○			
	地域在宅看護学概論 II	講義	1		15 15			○		
	地域在宅看護援助論 I	講義	2		15 30			○		
	地域在宅看護援助論 II	演習	1		30 30			○		
	家族看護学	講義	1		15 15		○			
母性看護学	在宅看護学実習	実習	1		45 45			○		
	母性看護学概論	講義	1		15 15		○			
	母性看護援助論 I	講義	1		15 15			○		
	母性看護援助論 II	演習	1		30 30			○		
	母性看護学実習	実習	1		45 45				○	
	小児看護学概論	講義	1		15 15		○			
小児看護学	小児看護援助論 I	講義	1		15 15			○		
	小児看護援助論 II	演習	1		30 30			○		
	小児看護学実習 I	実習	1		45 45			○		
	小児看護学実習 II	実習	1		45 45				○	
人間発達と健康支援	成人看護学概論	講義	1		15 15		○			
	成人看護援助論 I	演習	2		30 60			○		
	成人看護援助論 II	演習	2		30 60			○		
	成人看護学実習 I	実習	2		45 90				○	
	成人看護学実習 II	実習	3		45 135				○	
	老年看護学概論	講義	1		15 15		○			
専門科目	老年看護援助論 I	演習	1		30 30		○			
	老年看護援助論 II	演習	1		30 30			○		
	老年看護学実習 I	実習	1		45 45			○		
	老年看護学実習 II	実習	2		45 90				○	
	精神保健論	講義	1		15 15		○			
	精神看護学概論	講義	1		15 15			○		
精神看護学	精神看護援助論	演習	2		30 60			○		
	精神看護学実習 I	実習	1		45 45				○	
	精神看護学実習 II	実習	2		45 90				○	
	国際医療論	講義	1	15	15	○				
	エンドオブライフ・ケア論	講義	1	15	15	○				
	安全管理論	講義	1	15	15		○			
看護の統合と発展	災害看護論	講義	1	15	15			○		
	キャリアアップ特論 I	講義	1	15	15			○		
	キャリアアップ特論 II	講義	1	15	15			○		
	キャリアアップ特論 III	講義	1	15	15			○		
	看護管理論	講義	1	15	15			○		
	地域健康支援実習	実習	2		45 90			○		
	統合看護学実習	実習	3		45 135				○	
	看護研究 I	演習	2		30 60			○		
公衆衛生看護学	看護研究 II	演習	2		30 60				○	
	公衆衛生看護学概論 II	講義	1	15	15			○		
	公衆衛生看護支援論	講義	2	15	30			○		
	公衆衛生看護活動展開論	演習	2	30	60			○		
	公衆衛生看護管理論	講義	1	15	15			○		
	保健医療福祉行政論 II	講義	1	15	15				○	
保健師教育課程	公衆衛生看護学実習 I	実習	2	45	90			○		
	公衆衛生看護学実習 II	実習	3	45	135				○	

【看護師教育課程】

- 1.コモンベーシックス 必修10単位・選択2単位以上修得すること
- 2.リベラルアーツ 必修10単位・選択6単位以上修得すること
- 3.健康科学と看護実践 必修49単位・選択2単位以上修得すること
- 4.人間発達と健康支援 必修32単位修得すること
- 5.看護の統合と発展 必修12単位・選択3単位以上修得すること
- 6.卒業に必要な単位数は、上記1.から5.に基づき126単位以上とする。

【保健師教育課程】

- 1.上記【看護師教育課程】1~6を満たした上、保健師教育課程の必修科目(※印および公衆衛生看護学分野の授業科目)を修得する必要がある。

人間発達と健康支援
32単位必修

看護の統合と発展
12単位必修
3単位以上選択

公衆衛生看護学
保健師教育課程の必修科目

大学等名	青森中央学院大学	申請レベル	リテラシーレベル
教育プログラム名	データサイエンス・AI基礎プログラム	申請年度	令和7年度

取組概要

プログラムの背景

現代社会において、データ分析能力を中心とした「データサイエンス・AIリテラシー」を修得することは重要です。実際、日本政府は2019年6月にAI戦略2019を発表し、「数理・データサイエンス・AI」の基礎などの必要な力をすべての国民が育むべきとしています。このような方針に呼応して、数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアムにより、2020年4月に産業界や関係団体の協力も得て「数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム～データ思考の涵養」が公表されました。また、データサイエンス・AI技術の日々の進歩に呼応して、モデルカリキュラムの内容も改訂されています。

プログラムの目的

「データサイエンス・AIリテラシー」をこれからの時代の必須能力と位置づけ、この能力を本学のすべての学生に身につけていただくため

身に付けられる能力

経営法学部：「多様性の尊重」、「広い視野からの理解」、「変化と備えるべき能力の理解」、「数量的スキル」

看護学部：「人間と社会、自然への理解」「科学的判断の理解」「課題解決力」

開講されている科目の構成

データサイエンス・AI基礎
(必修科目：2単位)

修了要件

データサイエンス・AI基礎の単位取得

実施・点検評価体制

本学では、教養教育、設置校・学部を横断する教育等を計画・検証する組織として、学校法人全体で基幹教育センターを設置しています。本センターの設置目的の一つとして「学園設置校における数理、データサイエンス、AI教育の導入に関するこ²¹と」を掲げ、令和6年度より、本プログラムを開始しました。本センターとして毎年度、数理・データサイエンス・AI教育の点検をおこないその結果を次年度移行の教育内容の改善に活かしています。

授業内容

本学の教育プログラムでは数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラムを基に以下のような授業内容を実施しています。

モデルカリキュラム		本学での授業内容
導入	1-1. 社会で起きている変化	ビッグデータ、AI、IoT、知能革命、第4次産業革命、Society5.0、人間の知的活動とAIの関係性、データ駆動型社会
	1-2. 社会で活用されているデータ	調査データ、実験データ、1次データ、2次データ、構造化データ、非構造化データ
	1-3. データ・AIの活用領域	データ・AI活用領域の広がり、研究開発、調達、製造、物流、販売、マーケティング、仮説検証、知識発見、原因究明、計画策定、判断支援
	1-4. データ・AI利活用のための技術	データ解析、データの可視化
	1-5. データ・AI利活用の現場	データサイエンスのサイクル
	1-6. データ・AI利活用の最新動向	AI等を活用した新しいビジネスモデル、AI最新技術の活用例
基礎	2-1. データを読む	データの種類、データの分布と代表値、代表値の性質の違い、データのばらつき、相関と因果、クロス集計表、分割表、相関係数行列、散布図行列
	2-2. データを説明する	データ表現、データの図表表現、データの比較、不適切なグラフ表現、優れた可視化事例の紹介
	2-3. データを扱う	データの集計、データの並び替え、データ解析ツール、表形式のデータ
心得	3-1. データ・AIを扱う上の留意事項	ELSI、個人情報保護、GDPR、忘れられる権利、オプトアウト、データ倫理、AI社会原則、AIサービスの責任論
	3-2. データを守る上の留意事項	情報セキュリティ、匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取